

競技運営規程

1. 本大会の運営は、この運営規程による。
2. 競技規則は、(公社)日本ホッケー協会2015年度6人制ホッケー競技規則による。
 - * 平成27年度のスポーツ少年団・中学生(全国大会)の競技運営規程にならない、本大会は次のような取り扱いとする。
 - センターパスにより試合を開始する。
 - オウンゴールはありません。
 - フリーヒットは、ボールをしっかりと静止してからプレーを始めること。
(ヒット、プッシュ、フリックに加えてスクープで始めることができる。)
 - ハイスティックについては、従来どおり禁止とする。
 - センターライン上に置いたセンターパスは、自軍エリアとする。
(味方：4m離れなくてもよい。 敵側：4m離れる。)
 - サイドラインからのヒットインは、すべてボールが出た場所からとする。
 - ボールがバックラインを出た場合のスタート位置は、バックラインを越えた地点の延長上で、バックラインから12mの地点、およびサークルラインの外側からとする。
 - PC時におけるフライング(攻撃側・守備側)およびフェイントは、罰則としてセンターラインに戻す。
3. 競技時間は、小学生・中学生ともに前後半各10分・ハーフタイム2分とする。
4. 競技方法
 - * 小学生男子の部(26チーム)
参加チームを8グループに分け、1日目に予選リーグを実施し、2日目は各グループの第1位および第2位のチームによる決勝トーナメント戦をする。2日目に予選グループ敗者チームによる交流試合を行う。
 - * 小学生女子の部(14チーム)
参加チームを4グループに分け、1日目に予選リーグを実施し、2日目は全チームによる決勝トーナメント戦をする。当初は、2日目に予選グループ敗者による交流試合を予定していましたが、参加チームが少なかったため、全チームによる変則トーナメントに変更しましたので、注意してください!
 - * 中学生男子の部(24チーム)
参加チームを8グループに分け、1日目に予選リーグを実施し、2日目は各グループの第1位および第2位のチームによる決勝トーナメント戦をする。
 - * 中学生女子の部(24チーム)
参加チームを8グループに分け、1日目に予選リーグを実施し、2日目は各グループの第1位および第2位のチームによる決勝トーナメント戦をする。
5. 延長戦
 - ① 決勝戦のみ5分ハーフの延長戦を行う。ゴールデンゴール方式とする。
 - ② 決勝トーナメント戦において、時間内に勝敗の決しないときは、7に定めるSO戦によって勝敗を決定する。
6. 勝点制について
 - ① リーグ戦において、試合の結果勝ちチームに3点、負けチームに0点、引き分けの場合はそれぞれ各1点を与えるものとする。
 - ② 勝点と同じ場合は、下記の事項により順位を決定する。ただし、4チームによるグループについては、変則リーグ方式のため、①と④(②と③は関係なし)の事項で順位を決定する。
 - ① 直接対決の勝者
 - ② 得失点差数
 - ③ 総得点数
 - ④ SO戦

7. SO戦による勝負の決定方法

- ① 両チームの監督は、自チーム内よりレッドカードによる退場処分を受けている選手を除いた、出場登録済みの選手の中から3名の選手（シューター）と1名のゴールキーパーを指名する。
- ② 両チーム主将によりトスを行い、先攻後攻を決める。その後両チーム3名ずつのシューターにより交互に攻防を1巡行い(計6本)、得点の多いチームを勝者とする。
- ③ ②の方法によって勝敗が決しない時は「サドン・デス方式」すなわち両チームが同数のシュートを行った中で最初にリードしたチームを勝者とする方式により、再SO戦を行う。この時は、最初先攻のチームが後攻となり、選手はプレー不可能な者を除き、各チームは最初と同じメンバーで行う。ただし、順序は変えてもよい。

8. その他

- ① 選手の交代は、繰り返し何回でも行ってよいが、ジャッジ席側センターラインで行うこと。但し、ペナルティー・コーナーが与えられている間は、誰も交代できない（負傷した守備側のゴールキーパーは除く）。
- ② 試合開始時点において6人の選手がそろわない場合、試合中に退場・怪我などにより1チームの人数が4名以下になった時は、その試合は没収試合とする。そのチームのリーグ戦における全試合の記録は無効とする。
- ③ 出場チームが試合開始時刻までに参集しない場合は、棄権したものとみなし、相手チームに不戦勝を与える。棄権したチームはその後の出場を認めない。
- ④ 選手が負傷により出欠したとき、頭顔にボールが当たったときは、傷の手当てが完了するまでは再出場できない。
- ⑤ 雨天、日没等、試合続行不可能な状況の場合は、競技会場・試合開始時間の変更・試合時間の短縮等大会本部の指示に従うものとする。
- ⑥ ハーフタイム中のコート内の使用は禁止する。
- ⑦ 競技進行を円滑に行うため、試合開始予定時刻の10分前にはコートに集合する。また、試合終了後の相手チームへの挨拶は無とする。エントリーメンバー（選手・監督・コーチ・代表者）以外の関係者はスタンドから観戦すること。
- ⑧ ベンチは、予選リーグにおいては「競技日程表」、決勝トーナメントにおいては、「組合せ表」の左側チームが森側のベンチとする。